

隨所に主となり各界に貢献

同窓生の榮譽相次ぐ

静岡県立藤枝高等学校は創立以来六十余年を閲し、人と言えは選歴を過ぎたことになる。この間多くの人材を輩出し、多くの卒業生は地域はもとより、全国レベルで各分野、各界において活躍を続けている。志太中学校の「ベン」の校章から「菊の葉の校章」にかわってからも既に三十年以上を経過している。本校創立三十周年記念の学校新聞に、菊の葉の由来として、随所に根つき芳香を放つ菊の性格が謳われている。本校の卒業生はまさに、菊のごとく、地味に、随所に根つき、次第に花を咲かせつつある。

藍綬褒章

鈴木一雄氏

本校第十五回卒業生で現大井川町長の鈴木一雄氏は、昭和六十年四月二十九日藍綬褒章受章の榮譽に輝かれた。鈴木氏の受章理由は、「地方自治に對する功績」である。鈴木氏は、静岡県議會議員を五期務め、現在大井川町長二期目で活躍中である。同氏は、昭和四十八年から四十九年にかけて県議會議長、他に、建設委員、農水委員、農業水産委員、農林委員、地委委員、地方自治委員なども務められ、地方自治に對する貢献は顕著である。氏は、すでに母校P・T・A会長を務め、現在本会副会長を務めておられるなど母校のためにも種々御尽力いただいている。

勲三等旭日中綬賞

多々良鎮男氏

本校第三回卒業生の多々良鎮男氏が、昭和六十年春の叙勲において勲三等旭日中綬賞受章の榮に浴された。多々良氏は、旧志太郡相川村の御出身で、東京高等師範学校國漢科を卒業の後、宇都宮大学教育学校に奉職、後に宇都宮大学教師、学部教授、同学部長を歴任され、退官後は作新学院短期大学副学長として御活躍中である。温厚なお人柄、高い識見による今後益々の御活躍が期待されている。

静岡県体育功勞者

体育章

後藤美喜保氏

本校第九回卒業生、藤枝東高等学校サッカー部OB会長・藤枝東高サッカー部後援会長の後藤美喜保氏は、昭和五十九年度「体育功勞者」として、静岡県体育協会から「体育章」を授与された。氏は昭和三十一年、県サッカー協会の理事をはじめ、現在まで監督等

志太中一・二回生

合同同窓会開催

旧制志太中の一回生と二回生が昭和六十年四月十三日、藤枝市大正亭で同窓会を開いた。一回生、二回生それぞれは何回か同窓会を開いているが、合同で開くのは初めて。卒業以来六十一年ぶりに再会した人たちが多く、昔話に花を咲かせた。

三回同窓会 会務日誌抄

- 昭和六十年四月十三日
第一回、二回生の合同同窓会
大正亭に於いて開かれ、本校の草創の先鞭が會し、翌日の静岡新聞にも報道された。現在の静岡高を見学され昔日を偲ばれた。松永同窓会顧問、平松氏(三回生)事務局より海野、招待さる。
五月八日
会計監査
五月十二日
第六回生の同窓会。向善寺にて慰霊祭のあとに「あずさ」で開かれる。
六月一日
第三回生の同窓会。田毎で菖蒲を觀賞して開かれる。
伊村同窓会長、村松氏(第一回生)事務局海野出席。
御夫婦の参加、またご遺族のご参加があり盛大であった。
六月六日
会長・副会長会議
出席者 伊村会長、副会長、松永相談役、全員出席
学校側 鎌田校長、池谷教頭
事務局 海野、野本、鈴木貞
六十年度役員総会の日程・会場議題の原案作成
六十年度卒業生五十八回期役員の承認
同窓会規約について
本年度事業について
六月十二日
インターハイ東海大会(三重県伊勢)出場の運動部に同窓会長より、各五万円を贈り激励。
●剣道部
●弓道部
六月二十五日
本年度同窓会事業として、同窓会館に冷暖房装置(空調工事)完成。工費二百八十五万円、同窓会一般会計より百万円を支出す。
七月六日
同窓会役員総会 於同窓会館
五十九年度会計の決算の承認
岩崎正雄(第十二回卒)監事より監査報告
六十年度一般会計予算案の承認
特別会計(二十万基金)の利息)予算案の承認
同窓会規約一部変更について
本年度事業について
同窓会館空調工事について事後役員総会後、同窓会館にて懇親会を行う。
参加者 五十八名
七月九日
第九回同窓会 於藤枝パークインホテル
松永会長の会長退任の慰勞会



川端康成文学賞
小川国夫氏
第十三回川端康成文学賞(川端康成記念会主催)は十六日夕の審査会で静岡新聞教育欄に随筆「遊子随想」を執筆中の小説家 小川国夫氏(藤枝市本町一八八)に決まった。(新潮60年9月号)に決まった。
賞金は百万円。贈呈式は六月二十日午後五時から東京・虎ノ門のホテルオークラで。
夜の散歩から帰って来たその場で受賞の知らせを受けた小川さんは「日常のスケッチに、やや絵の具がにじみ、ブレを起こしたような作品。私の実際の生活や郷里と結びついた仕事で、その辺りが評価されたと思います。一口で言えは、逸民」は落ちこぼれ人間、外

以上、昭和六十年度の同窓会の事業、動向を記しました。同窓会、同級会等ありましたら是非事務局へお知らせ下さい。近年同窓会開催に際して母校に足を運ばれて、校内散策等をなさる方が増え、校内外が老朽化し、危険な建築物として近い将来建てかえなければならなくなると思っています。旧志太中を象徴するあの建物を背景に記念撮影をしておくのも悪くないと思います。また、中庭には「誠の像」並びに小川国夫氏の詩碑も建立されました。御來校の際は是非御覧下さい。同窓会館にも志太中時代の校長や歴代校長の写真、錦織校長の胸像等もあります。
◆今回の同窓会報告にはいくつかの特徴が見られました。①一回、二回、および十九回、二十回の合同同窓会が行われ、「合同」という形が盛んになったこと、②十回の方々が校内・蓮華寺等を散策されたこと、③三回の方々は毎度のことながら御婦人同伴で会を持たれていることなどです。同期会にも様々なことなど個性が見られるようになりまし